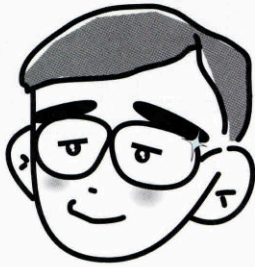


ながと日記 ばーと36

長門市長 松林正俊



ふるさと

た「2003地球環境米フォーラムin北長門」のテーマソングでもあり、今年創立百周年を迎える大津高校東京同窓会で、校歌に続きみんなで歌ったのもこの「故郷」でした。また今年4月22日、ルネッサながとで開催された「金子みすゞの心を歌うコンサート」のお礼に立ち寄った新宿のうたごえ喫

茶「ともしび」でも、満員のお客さんがこの歌を懐かしそうに唱っていました。「ふるさと」は遠きにありて想うもの、いつまでもわが山河は美しくあつてほしい」と、故郷を離れて暮らす人の願いはひとつのようです。そのふるさとが、地方の自治体がいま大きく変わろうとしています。地方分権の流れのもと、市町村の再編成、いわゆる平成の大合併が強く推し進められ、私たち長門・大津地域も合併に向け積極的に取り組んでいるのはご承知のとおりです。そんなふるさとの将来を案じ思

いやる気持ちは、遠く都会に暮らす人にとっても地元の私たち以上のものであるようです。「農業は大丈夫だろうか、漁業は元気だろうか、教育はしっかりやってみたらわなければ」。私たちへの期待は膨れあがりますが、「なんとか力になりたい」と、熱い想いをふるさとに向けています。豊かな海を見下ろしながら世界中の人々と田植えを楽しんだ棚田を未来に残し、海の幸に感謝し憐れんだ鯨文化を後世に語り継ぎ、地域性豊かで活力あるふるさとを創るには、都会で故郷を想う人たちと私たちの協働が何よりも必要なようです。



向陽小学校5、6年生による「ふるさと」の合唱
(5月31日/「2003米米フォーラムin北長門」開会式)

全校児童が萩焼づくりを体験

6月16日、向陽小学校で毎年の恒例行事となった萩焼づくりの体験学習がありました。体育館に集まった全校児童95人は、萩焼作家の新庄貞嗣さんの指導を受けながら、作品づくりに取りかかりました。児童たちは茶碗や皿、コップ、アニメのキャラクターなど自由な発想で個性ある作品を仕上げました。作品は約1カ月間乾燥させて素焼きを行い、夏休みに本焼きを行って完成させます。



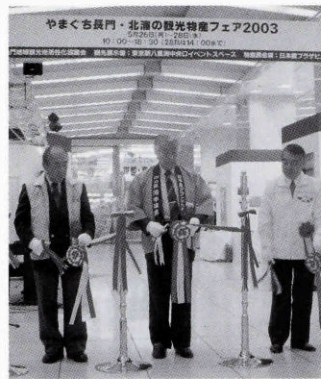
ふれあいスポーツ大会

6月15日、ながと総合体育館で「ふれあいスポーツ大会」が開催され、男子10チームと女子12チームが参加してビーチボールバレーを楽しみました。



やまぐち長門・北浦の観光物産フェア 東京で観光PR

5月26日から28日までの3日間JR東京駅と日本橋プラザビルで「やまぐち長門・北浦の観光物産フェア」が開かれ長門地域の観光と物産をPRしました。



シルバー人材センター 2003総会

5月27日、長門地区広域シルバー人材センターの通常総会が長門市中央公民館で開催され、約350人が出席しました。

